

2019 年度事業計画

◎基本方針

Achieve
2019

これまで、歯科技工士のナショナルセンターとして、国民に信頼され尊敬される組織の実現を目指し、公益法人としての事業と歯科技工士の明るい未来に向けた政策に取り組んできた。

特に事業は『7』プランを中心に、6年間の工程表に沿った達成目標を定め推進し、政策は関係者と協調して厚生労働大臣に要望書を提出し進めてきたことから、今年度はその最終年と捉え、「成し遂げる」ことを目標に邁進する。春に卷いた種が秋には実を付け収穫できるように、これまでの努力が成就することを一念に会務に臨む。

1. “日技新発展『7』プラン”の推進

- 3ヶ月に一回のペースで開催している『7』プラン推進委員会での進捗状況の評価と検証に沿って、最終目標達成に向けた対応を図る。
- 『7』プランの有用性を周知するための情報発信を積極的に行う。
- 戦略の実現に向けて設置した専門委員会等、『7』プランに関わるそれぞれの事業部門が連携して取組む。
- 地域組織役員の世代交代等を踏まえ、『7』プランについて分かりやすい手法で活性化を図る。

2. 公益社団法人としての円滑な会務運営

- 歯科技工士のナショナルセンターとして、公益事業をとおしてその存在を広く社会にアピールする。
- 状況の変化に伴う定款、諸規程や公益目的事業と各事業部門の事業内容等を精査し、変更が必要なものは準備・対応する。
- 地域組織と連携し、会員が組織活動に一体感を持てる会務運営に努める。

3. 歯科技工士の環境整備に向けた取組み

- 歯科技工士を取り巻く厳しい現状を踏まえ、確かな改善を図るために、引き続き知見とデータを示せる体制作りを図る。
- 当面の課題である「製作技工に関する費用の考え方」、「歯科技工士学校養成所の修業年限の延長」についてセミナーや検討会等の実績を踏まえ、実現に向けて戦略的に取り組む。
- 環境整備の原動力として不可欠な組織拡充について、様々な成功事例を参考に回復に向けて情報共有を図る。

なお、少子高齢化が進む我が国では、口腔の健康管理の徹底が健康寿命の延伸に貢献することが注目されていることから、そこに関わる歯科技工士が歯科専門職としての使命と責任を果たせるように、引き続き「歯科技工士の明るい未来に向けた提言」を社会に向けてアピールする。